

減災力のある地域づくり・事業所づくりのための

減災フォーラム & 減災協定締結式

減災とは、自然災害が発生しても被害を最小限に食い止められる取り組みのことをいいます。

それは、社会的責任のある公共機関（自治体・消防・警察など）と、社会貢献を理念とした減災NPOが連携し、生活小地域（自治会・班・組）の住民や、事業所の役職員・従業員が、平素から自主的に減災のための体制や規則を整え、自助力・共助力を高めておくものです。

そうすることで、日々を安心して暮らせる地域社会と、安心して仕事のできる職場環境の創造が図れます。

- 日 時 平成22年2月27日(土曜日)
- 場 所 東京エレクトロン韮崎文化ホール・小ホール
- プログラム

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会
ごあいさつ
韮崎市長
峡北広域行政事務組合消防本部消防長
NPO法人減災ネットやまなし代表理事
韮崎市議会議長
- 13:45 減災協定締結式
減災協定宣言
締結式
- 14:00 基調講演
演題「自然災害に安心できるまちづくり」
講師 長島忠美 先生
衆議院議員・元山古志村村長
- 15:30 閉会



- 主 催 韮崎市、峡北広域行政事務組合消防本部
特定非営利活動法人減災ネットやまなし
- 協 賛 株式会社内藤、上野電子株式会社、三洋精密工業株式会社
株式会社山梨中央銀行、株式会社ホテル舟山、株式会社興水建設
- 後 援 山梨県、韮崎警察署
山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨、NHK甲府放送局

長島忠美 先生プロフィール

選挙区：衆議院 北陸信越ブロック比例代表

当選回数：2回

生年月日：昭和26年1月9日

- 主な経歴：
- ・ 東洋大学理事長
 - ・ 新潟県山古志村村長
 - ・ 新潟県山古志村村会議員
 - ・ 新潟県山古志村教育委員



丘陵地の斜面に広がる美しい森林、棚田、にしき鯉の養殖、「牛の角突き」で知られる「日本の原風景が残る村」として知られた旧山古志村。

平成16年10月23日17時36分に新潟県中越地方を襲った発生したM6.8、震源の深さ13kmの直下型地震は、古志郡山古志村に壊滅的な被害を与えた。

村役場（現山古志支所）に設置されていた震度計が激しい揺れで壊れたため具体的な震度は不明だったが、地震発生前の風景は地震やそれに伴う土砂崩れなどの被災により、その姿を大きく変えた。また村域に通じる全ての道路が寸断されたため孤立し、村は2,200人の全村民に対し避難指示を出し、26日までに隣接する長岡市など（大半が長岡ニュータウン内の仮設住宅）での避難生活を余儀なくされた。（Wikipediaより）



地域や事業所の減災力をつけるためのプログラム例

